

令和8年3月6日

萩市議会議長 平田啓一様

萩市民病院と都志見病院の統合による
中核病院形成に関する調査特別委員会
委員長 横山秀二

萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院形成に関する
調査特別委員会 調査報告書

本委員会に付託の事件について、調査を行った結果、下記のとおり決定しましたので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

1 設置の経緯

令和3年12月定例会の市長報告において、萩市民病院と都志見病院の統合により中核病院の形成に向けて検討を進めていくとの報告があり、これに併せて、都志見病院からの事業譲渡を前提とした事業譲渡資産等調査委託業務の補正予算として約1,790万円が上程された。また、令和3年11月30日の全員協議会では、2病院統合による中核病院形成に向けた今後のスケジュール案も示され、早ければ令和4年5月～6月には基本合意に達したいとの説明を受けた。

そのような状況の中、この中核病院の形成については、市民の関心も極めて高く、この問題に特化して議論・調査することが必要と考えた議員から、令和4年5月臨時会において、特別委員会設置の議員提出議案が提出され、採決の結果、賛成多数で本特別委員会が設置された。

2 調査特別委員会の設置

(1) 設置日

令和4年(2022年)5月12日(令和4年萩市議会5月臨時会)

(2) 委員会の名称

萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院形成に関する調査特別委員会

(3) 委員会の定数

議長及び副議長を除く 委員18人

(4) 委員長・副委員長・委員の氏名

委員長 横山 秀二

副委員長 水津 和男

委員 浅井 朗太、岡崎 隆志、小林 富、齐藤 眞治、佐々木公惠

関 伸久、瀧口 治昭、西島 孝一、西中 忍、平田 啓一

松浦 誠、美原 喜大、宮内 欣二、村谷 幸治、森田 哲弘

森田 宗和

※令和6年5月14日まで

(※令和6年5月15日以降)

委員外：平田 啓一、齐藤 眞治 委員：長岡肇太郎、石飛 孝道

3 調査事件

萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院の形成に向けて、今後、萩市において検討が進むことから、統合のスキーム、財政支援と財政負担の内容、診療科目、医療機能、経営計画、雇用計画、中核病院形成後の二次救急医療体制、その他、委員会が必要とする事項について調査する。

4 委員会の開催状況

令和4年6月8日（第1回）から令和8年3月6日（第25回）まで全25回

回数	開催日	審査及び調査の概要	出席者
第1回	令和4年6月8日	執行部説明 ・中核病院形成の現状について ・医療制度（地域医療構想）について ・これまでの検討、今後の想定スケジュールについて	委員 18名 説明員：田中保健部長、野間室長
第2回	令和4年8月9日	執行部説明 ・基本合意の進捗状況について 議員間討議 ・調査項目の確認	委員 17名 説明員：田中保健部長、野間室長
第3回	令和4年9月22日	議員間討議 ・経営形態について ・病床規模について	委員 18名

第4回	令和4年10月26日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について <p>議員間討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科目について 	<p>委員 17 名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、田中保健部長、野間室長</p>
第5回	令和4年12月19日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能についての補足説明 <p>議員間討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能について 	<p>委員 17 名</p> <p>説明員：田中保健部長、野間室長</p>
第6回	令和5年2月20日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について 	<p>委員 17 名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、田中保健部長、野間室長</p>
第7回	令和5年4月28日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・経営シミュレーションについて <p>議員間討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営シミュレーションについて 	<p>委員 15 名</p> <p>説明員：齋藤総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第8回	令和5年6月8日	市長への申し入れの確認について	委員 17 名
—	令和5年6月15日	萩市民病院と都志見病院の統合に関する基本合意の早期締結の申し入れ（文書）	<p>長岡議長、横山委員長、水津副委員長</p> <p>執行部：田中市長、柴田副市長、齋藤総務部長、廣石保健部長</p>
第9回	令和5年8月28日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員 17 名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、齋藤総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>

第10回	令和5年9月21日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員17名</p> <p>説明員：齋藤総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第11回	令和5年11月24日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員17名</p> <p>説明員：柴田副市長、廣石保健部長、野間室長</p>
第12回	令和6年1月12日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員15名</p> <p>説明員：廣石保健部長、野間室長</p>
第13回	令和6年2月16日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員17名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、廣石保健部長、野間室長</p>
第14回	令和6年4月25日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員16名</p> <p>説明員：齋藤総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第15回	令和6年7月25日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員18名</p> <p>説明員：田中市長、齋藤総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第16回	令和6年10月31日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員17名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、齋藤総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第17回	令和7年1月31日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員16名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、齋藤総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>

第 18 回	令和 7 年 4 月 25 日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 <p>議員間討議</p>	<p>委員 17 名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、田村総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第 19 回	令和 7 年 6 月 25 日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員 18 名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、田村総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第 20 回	令和 7 年 8 月 4 日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員 18 名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、田村総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第 21 回	令和 7 年 10 月 9 日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 <p>(後日、文書による二次質問：10/24 付け発出、11/7 付け回答)</p>	<p>委員 16 名</p> <p>説明員：柴田副市長、田村総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第 22 回	令和 7 年 12 月 23 日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員 17 名</p> <p>説明員：田中市長、田村総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>
第 23 回	令和 8 年 1 月 26 日	<p>執行部説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意の進捗状況について ・委員からの質問に対する答弁等 	<p>委員 18 名</p> <p>説明員：田中市長、柴田副市長、田村総務部長、廣石保健部長、野間室長</p>

第 24 回	令和 8 年 2 月 20 日	執行部説明 ・基本合意の進捗状況について 議員間討議 ・委員会報告について	委員 16 名 説明員：田中市長、 柴田副市長、田村総 務部長、廣石保健部 長、野間室長
第 25 回	令和 8 年 3 月 6 日	執行部説明 ・基本合意の進捗状況について 議員間討議 ・委員会報告書の確認について	委員 18 名 説明員：田中市長、 柴田副市長、田村総 務部長、廣石保健部 長、野間室長

5 総 括

調査対象となった当該事案について、以下のとおり総括する。

令和 4 年 5 月 1 2 日に設立された本調査特別委員会における調査項目は、「萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院の形成に向けて、今後、萩市において検討が進むことから、統合のスキーム、財政支援と財政負担の内容、診療科目、医療機能、経営計画、雇用計画、中核病院形成後の二次救急医療体制、その他、委員会が必要とする事項」である。

本委員会の設立時には、市から令和 4 年 6 月に基本合意予定とのスケジュール案が示されていたことから、令和 4 年 6 月 8 日開催の第 1 回委員会においては、中核病院形成の現状、地域医療構想について、これまでの検討と今後の想定スケジュールについて市に説明を求め、現状を確認した上で調査を進めていくこととした。

しかしながら、令和 4 年 6 月を過ぎても基本合意の締結に至らなかったため、令和 4 年 8 月 9 日の第 2 回委員会以降、令和 5 年 4 月 2 8 日開催の第 7 回委員会まで、必要に応じて市から基本合意の進捗状況について報告を受けるとともに、診療科目や医療機能等について議員間討議も行いながら委員会独自に調査を進めてきた。

その後、委員会が設立されて 1 年を経過しても基本合意が締結されることがなかったことから、令和 5 年 6 月 1 5 日に「萩市民病院と都志見病院の統合に関する基本合意の早期締結について」の要望書を長岡議長及び中核病院特別委員会正副委員長から市長に直接提出し、基本合意締結に向けて市長のリーダーシップの下、早急に進めてもらうことを求めるとともに、今後の委員会においては、現状の進捗状況について月次報告を行うよう求めた。

この要望書の提出以降、令和 5 年 8 月 2 8 日開催の第 9 回委員会から、令和 8 年 2 月 2 0 日開催の第 2 4 回委員会まで、毎回、執行部から基本合意に関する月次報告を受けるとともに、委員から執行部に対し、質疑を繰り返してきたところである。

そのような中、令和 7 年 8 月 4 日開催の第 2 0 回委員会において、田中市長から「市としては年内、遅くとも年度内には結論を出してまいりたい。」との発言があり、委員会として基

本合意の進捗に大いに期待をしたところであったが、結果的に、2月20日開催の第24回委員会においても、基本合意の締結との報告には至っていない状況であり、発言の重みの認識が全くなく、遺憾であった。

また、月次報告における市からの説明は、具体的な医療機能などの詳細については基本合意の後にしていく、「まずは基本合意」との説明に終始しており、結果的に「基本合意の進捗に係る月次報告」を求めても、交渉内容は説明することができないとの一辺倒であり、それに対する質疑のみを重ねることとなった。詳細の報告がなかったのは、誠に残念であった。

そうしたことから、委員会設立から4年近くが経過し、物価高騰をはじめとした様々な社会情勢の変化等を踏まえた統合後の病院の医療機能などの具体的な内容については、調査を深めることができなかったところである。

委員会の調査報告書の作成に当たり、第24回委員会において、これまでの執行部報告や委員会の調査を踏まえ、議員間討議を行った。この議員間討議における主な発言については、以下のとおりである。

- ・この2病院統合による中核病院形成は、地域医療構想調整会議で確認された手法である。現状の萩保健医療圏は、医師の不足や高齢化、看護師等の医療従事者の不足等で大変厳しい状況になっており、医療資源を集約して、効率的に医療サービスを提供できる中核病院は必要と考える。
- ・医療資源の集中を早く進めないと一次救急も二次救急も崩壊してしまう恐れがある。医療提供体制が危機的であると思うので、早急に行う必要がある。
- ・現場の看護師から、萩の医療が崩壊しないためにも中核病院をしっかりと欲している意見があった。
- ・中核病院形成が5年間停滞したことは、市民にとって、また将来の市民にとって損失であるとしかねない。
- ・医師会有志の会から出された要望書は、現場の第一線で働く医師の危機感のあらわれであり非常に重たいものである。その内容について、市は真摯に、真剣に向き合ってもらいたい。
- ・基本合意は相手があってできるものであるため、相手の立場に立って、相手を尊重して物事を議論してもらいたい。そうでないと進んでいかない。
- ・基本合意が遅れていることについて、その原因や項目等について、市からの特別委員会や市民に対する情報公開が不十分であったので、今後の情報提供の在り方を考えてもらいたい。
- ・2病院間で基本合意に時間がかかっているのは事実なので、執行部に働きかけるとともに、特別委員会としても、今後、医療を所管する山口県に仲裁等の積極的関与をお願いする必要があると考える。
- ・中核病院構想自体には賛同するが、本委員会設置から4年もの時間が経過し、議員の考えも、その間に議論の変遷を経て、慎重に議論した方がよいというように変わってきていることもあるのではないか。

- ・各委員において、それぞれ意見があるとは思いますが、中核病院の形成を進めて行くという方針については、全委員が同じ考えと思う。

結びに、萩市の医療提供体制は年々厳しさを増してきており、その解決の手段として、医療資源の集約を図るため、萩医療圏地域医療構想調整会議の決定を踏まえて、市が2病院統合の実現に向けて協議を進めてきたが、2病院統合は現在まで実現できていない。

本委員会が設立された令和4年5月から4年近く経過した現在は、物価高騰をはじめとした様々な社会情勢の変化や、医師や看護師等の医療従事者の不足など、医療提供体制を維持していくことが、より一層厳しくなっている。

そのような状況の中、この中核病院形成については、市民の生命、健康を守るために進められてきたものであることから、まずは引き続き、萩医療圏地域医療構想調整会議で決定された2病院統合をできるだけ早期に進めていただきたい。

それと同時に、崩壊の危機にあると言われる二次救急体制をいかに維持していくか、そのための手段である中核病院形成も含めて、市民のために、市が主体的に様々な方策を探り、あらゆる手段を講じて、全力で進めてもらいたいということを本委員会から市に対して要望する。

また、次期の議会におかれては、議会として市民のために何ができるのか、様々な検討いただきたいことを申し添え、本委員会の報告とする。